

平成30年度行政評価シート【個表】

平成 30 年 7 月 5 日

評価対象事業		評価者	中央図書館長	青木 達哉
教育-39	実施事業	図書館管理運営事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課 中央図書館
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課
総合計画上の位置付け	分野	生涯学習	施策の方針	学習環境の整備・充実

1 事業の目的

対象	市民等
意図	図書等資料を収集、整理・保蔵して市民等の利用に供し、生活に則した教養等に資するため。
効果	市民自らが文化的教養を高め、自己判断力の向上を目指すとともに、調査・研究等に活用されること。

2 平成29年度に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> 効果的な資料収集を図るとともに、市民ニーズに則した貸出業務、インターネット予約受付などを実施した。 図書館業務に必要な嘱託員の配置と諮問機関としての図書館協議会の運営を図った。 図書館施設の維持管理を行った。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	28年度決算	29年度決算	データ区分	30年度当初予算	備考
人口等のデータ	人口	176,869人	人口	176,308人	・各年3月31日(住民基本台帳)
	世帯数	80,928世帯	世帯数	81,763世帯	
	事業の対象者数			事業の対象者数	
運営資源状況	決算値(千円)	130,055	131,053	当初予算(千円)	143,935
	国県支出金			国県支出金	
	地方債			地方債	
	その他			その他	
	一般財源	3,174	2,681	一般財源	5,969
	人員配置数	23.8	24.8	人員配置数	21.8
事業経費	人件費(千円)	180,452	190,098	人件費(千円)	169,700
	総事業費(千円)	310,507	321,151	総事業費(千円)	313,635
	市民1人当りの経費(円)	1,756	1,820	市民1人当りの経費(円)	1,779
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)	

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	3. 十分な成果が出ている
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	△. 負担未導入
		△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○. 協働実施済
		協働実施済の場合のパートナー ファンタスティック☆ライブラリー実行委員会 図書館とともだち・鎌倉

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	事業へ統合
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する				

予算規模の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	幅広い市民ニーズに応えるため、資料の収集及び各種サービスを充実させるとともに、広告収入や雑誌スポンサー制度等の周知を図り、財源の確保に努める。また、図書館振興基金の活用について検討を行っていく。
	<input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする		
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する		

総評(評価に対する考え方、根拠等)	<p>事業費に関しては、所蔵資料の古さ少なさに対する意見や要望も多く、また、本市図書館で所蔵していない資料については県内・県外図書館からの借用で対応しており、運搬料の増加していることから、削減の余地は「ない」と考える。</p> <p>関連・類似団体との統合については、公共施設再編整備計画の中で地域館は拠点校へ統合させるとなっているが、中央図書館は拠点館として機能を充実させていく必要があるため統合できないものとする。</p> <p>図書館には、平日休日を問わず幅広い年代層の利用があり、開館時間の延長を希望する利用者も少なくない。また、おはなし会や様々な行事を行うことで図書の貸出だけでなく、利用者同士が交流を図れる場所としての機能も果たされている。</p> <p>協働については、図書館行事であるファンタスティック☆ライブラリーにおいて、市内でボランティア活動を行っている団体等が実行委員会形式で運営を行い、平成30年度で11年目を迎える。また、平成29年度は図書館とともだち・かまくらとの協働により、地域館と地元で活動している市民団体等や地域住民とを繋ぐ催し等を行い、地域館の活性を図った。</p>
-------------------	--

平成29年度事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	耐震工事に向けた具体的な計画について、公共施設再編計画の進捗状況を見据えながら進めていく必要があるとともに、市民が交流できる機能の充実を図る。 図書館の効率化とサービス向上に向けて、嘱託職員を中心とした体制づくりや開館時間の変更について検証作業が必要である。 第3次鎌倉市図書館サービス計画の策定にあたり、図書館の将来像を確立したビジョンの策定が必要であるとする。	
課題解決のために行った平成29年度の取組	平成29年8月から10月の3か月間、大船図書館において夜間開館の延長、玉縄図書館において、新たに創設した専門業務嘱託員を採用し、嘱託職員を中心とした運営体制及び夜間開館の中止の試行をおこない、図書館の効率化とサービス向上に向けた検証作業を行った。 図書館の将来像を確立したビジョンの策定に向けて検討を行い骨子案を策定し、また、幅広い意見を取り入れるため利用者懇談会を開催した。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	耐震工事に向けた具体的な計画について、公共施設再編計画の進捗状況を見据えながら進めていく必要があるとともに、引き続き市民が交流できる機能の充実を図る。 効率的な図書館運営を行うため、開館時間の延長について検証作業が必要である。	

◎ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	月1回の休館								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績	○	月2回 (総合館のみ)	×	×	○	×	×	×	×

比較事項	宅配サービス								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績	○	×	○	×	○	○	×	○	×

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	より多くの市民等に図書館を利用してもらうため、利用者のニーズに合わせたサービスの充実を図るため。
----------------------	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	貸出冊数	単位	冊	指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
蔵書の充実を図り、多くの市民に図書館を利用してもらうため	目標値	1,500,000.0	1,500,000.0	1,500,000.0	1,500,000.0	1,500,000.0	1,500,000.0
	実績値	1,382,363.0	1,411,599.0	1,349,752.0	1,332,565.0		
	達成率	92.2%	94.1%	90.0%	88.8%		

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	新たな図書館システムの導入により蔵書点検等の効率化が図られ、自動貸出機なども導入し、利用者の利便性を図っているが、インターネットや電子書籍の普及により情報収集も多様化し、貸出数が伸びにくさに繋がっているものと思われる。
-----------------------	---